



興津小学校がぼうさい甲子園大賞受賞

小学生部門において最も優れた賞に選ばれました

優れた防災教育を顕彰する2023年度の「ぼうさい甲子園」(1.17防災未来賞)-毎日新聞社等主催で、興津小学校が小学生部門で最も優れた「ぼうさい大賞」に選ばれました。

興津小では、「防災の一步は健康づくりから」をテーマとし、避難に必要な健康の維持と防災意識の向上をめざした「興津防災パワフルウォーキングマップ」を作成しました。マップには、「チャレンジ」や「モデルコース」を記載し、防災施設を巡りながら健康作りに取り組む工夫が盛り込まれています。

昨年12月23日に兵庫県公館において「ぼうさい甲子園」表彰式・発表会が開催され、興津小から5・6年生10名が参加しました。200名の参加者を前に、防災マップの作成を通し「みんなで生き抜くために」防災学習を行ってきたことを堂々と発表しました。

3学期には、子どもたちからの便りを添え興津地域に「興津防災パワフルウォーキングマップ」を配布する予定です。

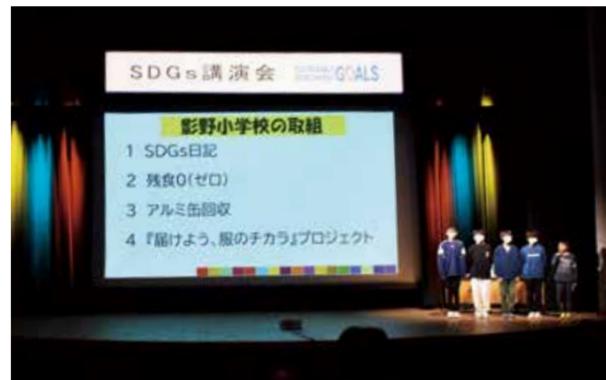


四万十町防災講演会が開催されました！

防災には本番がある、過去の経験から学ぶ

1月14日、窪川四万十会館で防災講演会が開催され、約200名が参加しました。第1部は、東日本大震災で被災された宮城県石巻市の元中学教諭、佐藤敏郎氏の防災講話。震災当時、大川小学校で6年生の娘を津波で亡くされた佐藤氏。悲惨な出来事から13年。今もなお、全国各地で講演を続け、あの出来事と向き合い、そして前へ進み続ける佐藤氏の姿や言葉の力に会場からは涙する姿も見られました。

また、第2部では、「防災活動に参加する住民が少ない」をテーマに、自主防災組織シンポジウムが開催され、パネリストからは、従来の訓練を継続することの必要性、さらには、若い世代が気軽に防災に触れられる防祭フェスのような新たな取り組みも必要ではとの意見交換がなされました。



SDGs講演会を開催しました！

今回のテーマは環境について

令和5年12月3日に窪川四万十会館にて、SDGs講演会が開催されました。天気にも恵まれ、多くの家族連れでにぎわいました。当日は、影野小学校6年生によるSDGsに関する取り組み発表や四万十川財団事務局長の神田修氏、特定非営利活動法人環境の杜こうち理事長の内田洋子氏による講演が行われました。館内では、町内小学生の作品「環境絵日記」の展示、小物入れ工作や年輪ペンダントのワークショップ、フードライブやわんにゃんプロジェクト、環境コーナーなどSDGsに関連する多くのブースが出店しました。町としましては、引き続きSDGsを推進してまいりますので、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



Gathering of the Twenty-Years-Old 2024 Photo gallery

